

「ヒコーキと美術」展会場施工業務委託（一般委託）仕様書

「ヒコーキと美術」展会場施工業務委託に基づく内容は、本仕様書の定めるところによる。

1	目的	「ヒコーキと美術」展(会期:令和3年2月6日～4月11日)での作品展示のための会場を設営するとともに、会場誘導のための案内、展覧会告知の看板などを制作、設置を行う。
2	履行期間	契約日から令和3年3月31日
3	施行場所	横須賀市鴨居4-1 横須賀美術館
4	業務内容	別紙のとおり
5	特記事項	作業に必要な用具類を持参すること。作業で発生した残材等の不用品は、請負側の責任において搬出し、処理すること。また作業終了後は、後片付けおよび清掃を行うこと。作業時間は原則として各日とも9:00～17:00とするが、開館時間外に行なう業務が含まれる(別紙仕様書を参照)。設置・設営位置などの詳細は担当者と打ち合わせの上、決定する。
6	関係法規	
7	資格要件	本業務履行については、下記の資格を有すること。 平成27年4月1日以降に、公立であるか私立であるかを問わず美術館において会場面積600㎡以上の美術展の会場施工業務の契約を締結し、完了した実績があること。 この実績を証明するため、当該契約書及び仕様書の写し(当該履行内容を記載した箇所)、並びに会場面積を確認できる図面等の資料を参加申請書提出期間内にファクスで送信すること(FAX046-828-3839)。送信しない場合は、競争見積り合わせに参加できない。
8	契約方法	総価による業務委託契約(一般委託)
9	支払方法	委託料の支払いは、業務完了後一括払いとする。
10	その他事項	この仕様書に定めのない事項及び疑義を生じた場合は、別途協議するものとする。
11	監督員 連絡先	横須賀市鴨居4-1 横須賀美術館 担当:沓沢 Tel046-845-1212/Fax046-845-1216

＜指示又は希望事項＞

グリーン 物品購入 及び 環境配慮 関係	<p>・この業務を施行するにあたって、仕様書でグリーン物品購入の指示がある場合は、横須賀市グリーン購入基本方針及び調達方針に基づく環境物品等を納入すること。また、仕様書で特に指示がない場合で委託代金に物品等の購入経費が含まれている場合は、できるだけこの方針に基づく環境物品等の調達をお願いします。 (上記方針については、本市のホームページ「よこすかのグリーン購入」参照)</p> <p>・本市は、独自の環境マネジメントシステム(YES)により事務事業の環境負荷低減に努めているので、受託者においてもできる限り環境に配慮して業務を執行するようお願いします。</p>
----------------------------------	---

「ヒコーキと美術」展会場施工業務委託仕様書

- 1 件名 「ヒコーキと美術」展会場施工業務委託
- 2 場所 横須賀美術館
- 3 会期 令和3年2月6日～4月11日
- 4 作業日程 施工（業務内容1、2）令和3年1月25日（月）18時～19時、または26日（火）の8時半～9時半
 施工（業務内容3～5）令和3年1月29日（金）～2月2日（火）のうち3日間
 納品（業務内容6～12）令和3年2月2日（火）まで

※いずれも原則として、9時～17時までを作業時間とする。
 ただし、作業が時間外となる場合は、その費用を見込むこと。

5 業務内容

(寸法はすべてmm表示) 数量

1 屋内切り文字看板		1枚
寸法	t10、貼付範囲H1,000×W2,000 30文字程度(展覧会名、会期など)の切り文字	
仕様	受付カウンター背面の既存壁に切り文字を貼る。 原稿データは美術館より提供する(レイアウトデザインを起し、校正は3回行う)。 色は指定色あり。	
2 入口バナー		1枚
寸法	H450×W2400 詳細は別紙図面1を参照	
仕様	美術館正面入口外の底部分に掲示するため、展覧会名と入口を指示するバナーを制作する。 原稿データは美術館より提供する(レイアウトデザインを起し、校正は3回行う)。 屋外用シートの両面にインクジェット出力(4色)。会期中風雨や日光によって変質しないこと。 上辺は袋縫い仕上げとし、水平性保持及び取り付けのためのパイプを通すこと。 結束バンド等(白色)により、パイプと梁とを結束して取り付ける。梁を損傷しないよう留意すること。バンドは1箇所につき600mm程度必要。	
設営場所	美術館正面入口外の底部分 取り付け位置の高さ約3m	
3 仮設壁の撤去		1式
寸法	①H3600×W9000×D500(鉄骨)	
仕様	既存の仮設壁①を撤去する。 備品の鉄骨骨組、木パネル(H3000)については再利用するため、解体後は美術館地下の所定の場所に移動する。 備品を除く廃材については持ち帰り廃棄すること。 撤去によって生じた既存仮設壁側の損傷部分は補修すること。 パネルの継ぎ目が目立たないように、寒冷紗を貼付し、パテ調整、水性塗料を二度塗りする。使用する塗料は白色(日本塗装N-95[日本ペイント・N-60・エコフラット・ツヤ消し])とする。 備品の鉄骨骨組および木パネルの解体・設営方法について不明の場合は、事前に担当者から十分な説明を受けること。	
場所	展示室2 *別紙図面2①を参照	
4 屏風作品展示用ステージ		1式
寸法	②H400×W6300×D1800	
仕様	屏風作品を展示するためのステージを指定位置に設置する。木製とし、少なくとも天面、正面、両側面の4面について、経師を施すこと(背面は壁付けとなる)。経師には鳥の子紙を用いることとし、色は別途指定する。展示作業員が上に乗って作業できる程度の耐荷重をもたせること。天面には作品(屏風)を固定するためのネジ、ピンが打てるようにすること。	
場所	展示室2 *別紙図面2②を参照	

5 パネル作品（6面）の仮枠及び支持台（受け）の製作・設置 1式

寸法	仮枠：H2600×W7460×D100*作品寸法に合わせて微調整あり ③支持台：H200×W8000×D900 *作品寸法：H2420×W7260×t30（2420×1230×6面）
仕様	パネル作品を固定し展示するための仮枠を壁面に設置する。 上棧および下棧を設置後、（襖のような）落とし込みの仕組みにより、作品を前面から嵌め込む仕様とする。なお側棧は、作品を展示したのちに設置する（作品展示、および側棧の設置作業は含まない）。 下棧は、支持台に接するように設置する。 棧の設置にはネジを使用し、厳密に水平をとること。設置する壁面は必ずしも平面ではないため、特に上棧と下棧の位置にずれが生じないように注意すること。 ヤニなどで作品を汚損する恐れのない木材を使用すること。 塗料を使用する場合は、納品までにじゅうぶんに乾燥させること。 支持台は白色の塗装、または紙経師仕上げとする。上に作業員が乗って作業可能な強度を持たせること。 仮枠、支持台とも、2または3分割として納品してもかまわない。 材料および接着剤には、ホルムアルデヒド他の有害物質を発生しにくいもの（☆☆☆☆以上）を使用すること。
場所	展示室2 *別紙図面2③を参照

6 あいさつパネル（大） 2枚

寸法	H900×W600
仕様	スチレンボードにインクジェット出力（1色） データ渡しとし、デザインレイアウトを起し、校正は3回行う。

7 解説パネル（中） 12枚

寸法	H900×W360
仕様	スチレンボードにインクジェット出力（1色） データ渡しとし、デザインレイアウトを起し、校正は3回行う。

8 図版パネル 4枚

寸法	H800×W1000
仕様	スチレンボードにインクジェット出力（1色）。 データ渡しとし、デザインレイアウトを起し、校正は3回行う。

9 年表パネル 1枚

寸法	H800×W3600（分割可）
仕様	スチレンボードにインクジェット出力（1色）。 データ渡しとし、デザインレイアウトを起し、校正は3回行う。

10 キャプション（大） 46枚

寸法	H150×W210mm
仕様	スチレンボードにインクジェット出力（1色）。 データ渡しとし、デザインレイアウトを起し、校正は3回行う。

11 キャプション（小） 30枚

寸法	H100×W150mm
仕様	スチレンボードにインクジェット出力（1色）。 データ渡しとし、デザインレイアウトを起し、校正は3回行う。

12 その他

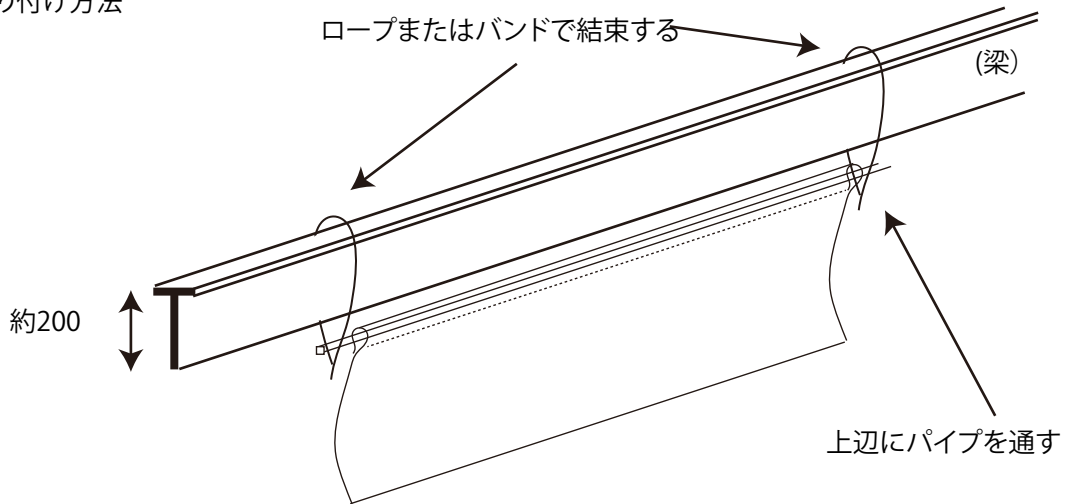
<p>(1) 造作物などに関しては、改善点などある場合は提案し、施工図を提出の上、提案担当者との協議の後製作すること。</p> <p>(2) 展示工作作業監督者（責任者）を指名し、作業期間中は作業場所に常駐させること。</p> <p>(3) 作業の範囲は、該当する箇所の造作物の制作、設置と撤去とする。</p> <p>(4) 作業に必要な機械、工具およびワイヤー、養生テープなど資材は全て持参し、搬入すること。</p> <p>(5) 作業期間中は、指定場所以外における火気の使用を禁止する。</p> <p>(6) 検査をおこなう時は、当該検査に立会い、不備な箇所は直ちに手直しを行うこと。</p> <p>(7) 作業に発生した残材等の不要品は、請負側の責任において搬出すること。 また、前回展覧会で設営した壁を撤去する際に発生した残材等についても、搬出すること。</p> <p>(8) 作業終了後は、後片付け及び清掃を行うこと。</p> <p>(9) 接着剤は環境対応型のものを使用すること。</p> <p>(10) 現地確認希望の場合は、美術館運営課にFAXで申し込むこと。</p> <p>(11) その他不明な点は、当館担当者の指示によるものとする。</p>

別紙図面 1

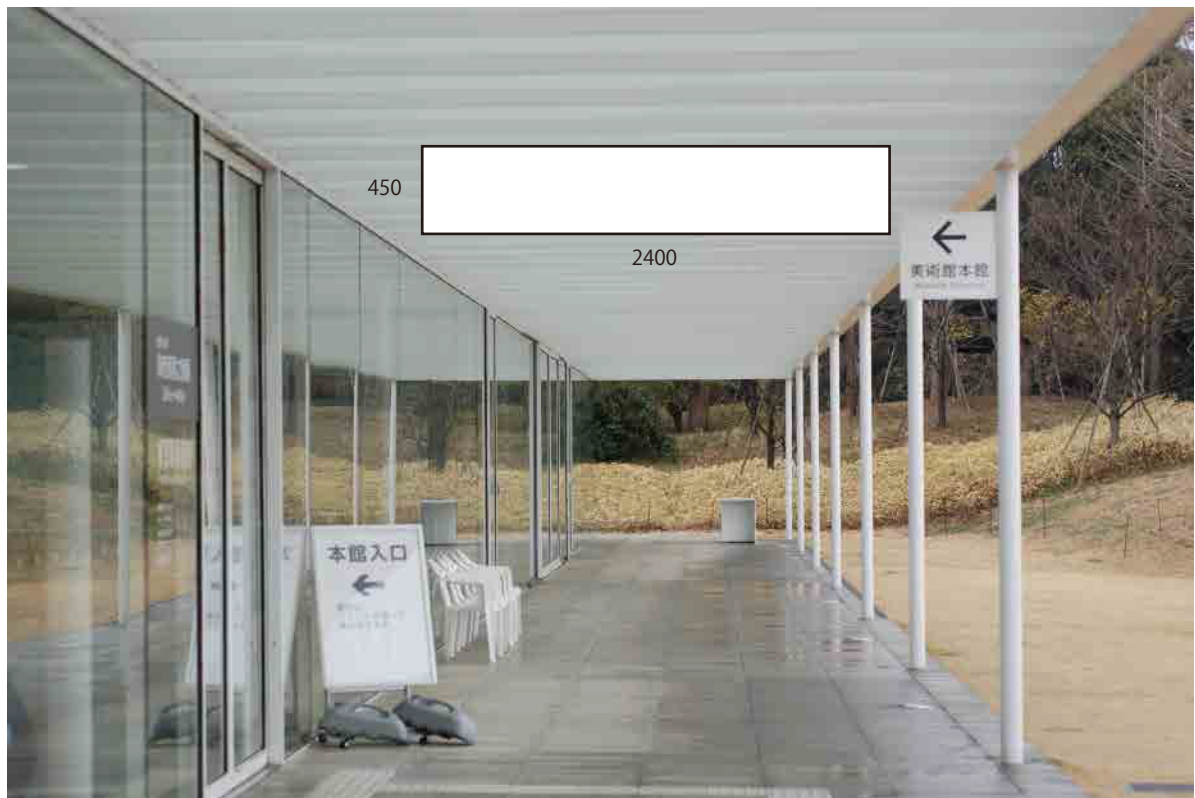
入口バナー

- バナーを製作し、美術館正面入口外の底部分に設置する。
- 上辺は袋縫い仕上げとし、水平性保持および取り付けのための角パイプ(20×20、支給)を通すこと。
- 結束バンド等(白色)により、パイプと梁とを結束して取り付ける。梁を損傷しないよう留意すること。バンドは1箇所につき600mm程度必要。

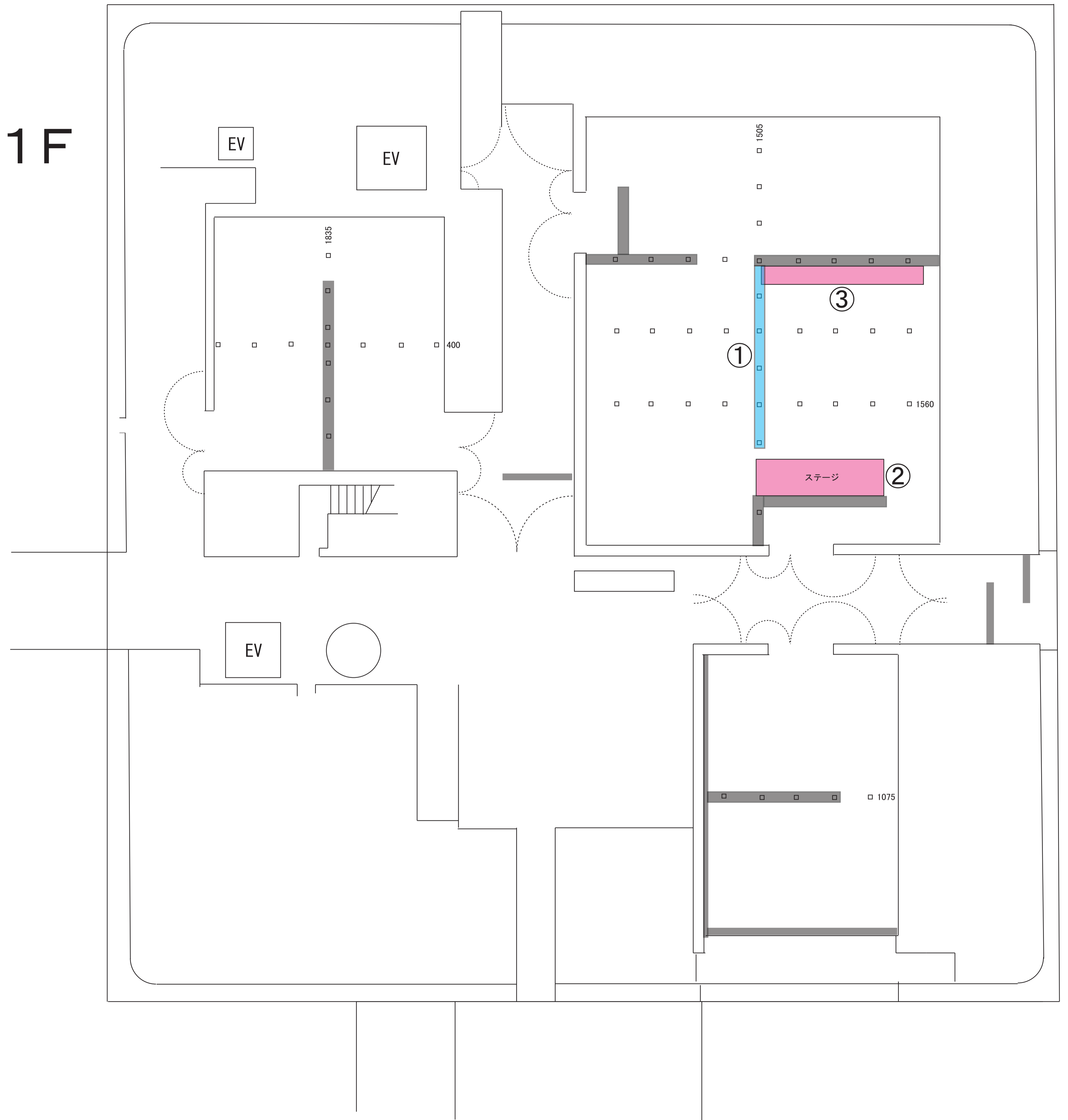
取り付け方法



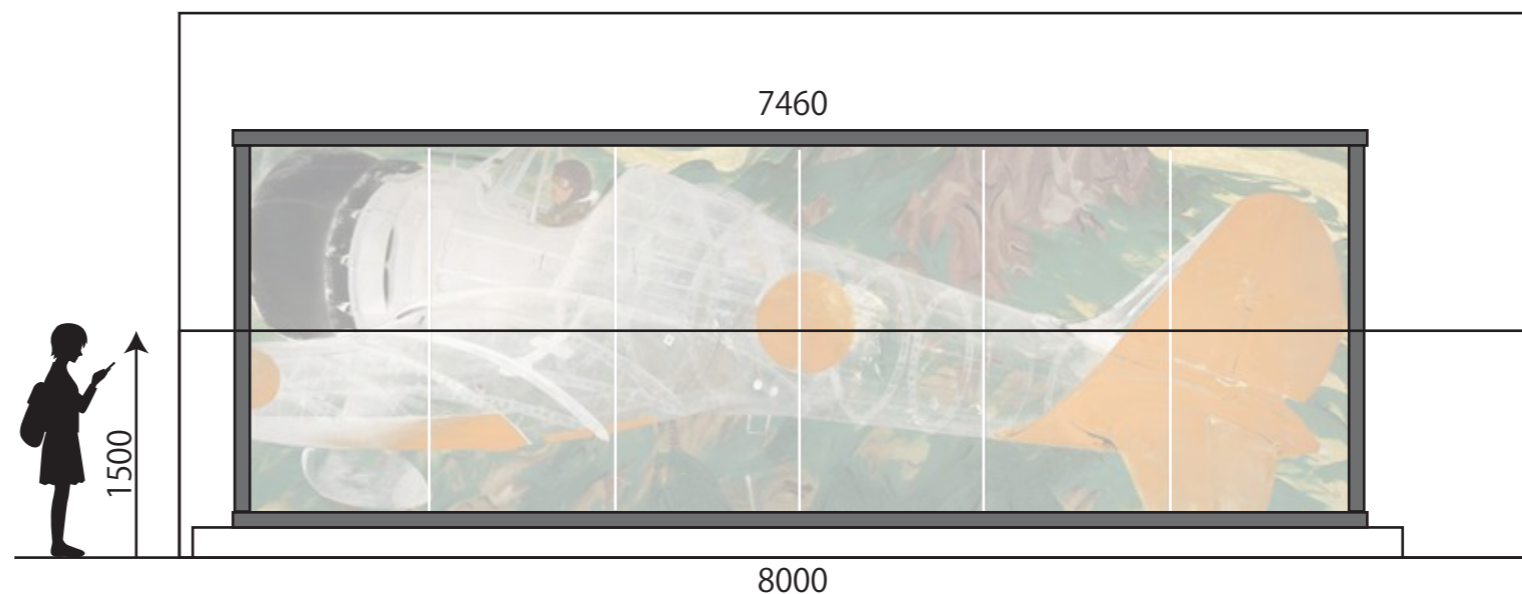
取り付けイメージ



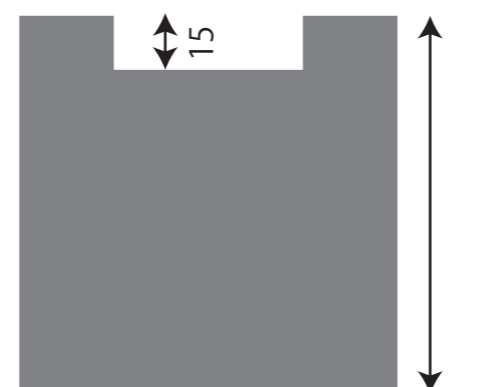
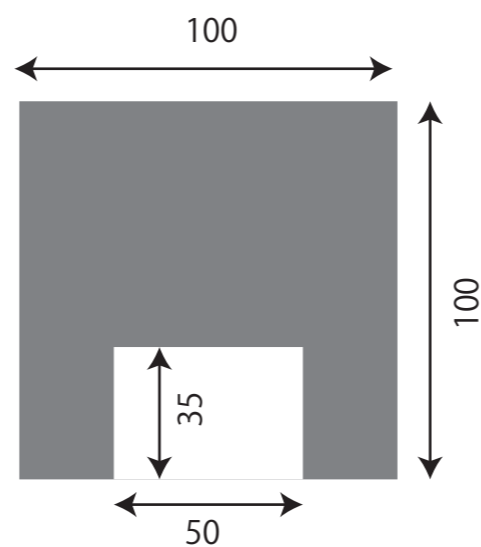
1F



0 1000mm



設置する壁面は必ずしも平面ではないため、特に上棧と下棧の位置にずれが生じないように注意すること。



パネル作品を固定し展示するための仮枠を壁面に設置する。上棧および下棧を設置後、（襖のような）落とし込みの仕組みにより、作品を前面から嵌め込む仕様とする。なお側棧は、作品を展示したのちに設置する（作品展示、および側棧の設置作業は含まない）。

下棧は、支持台に接するように設置する。

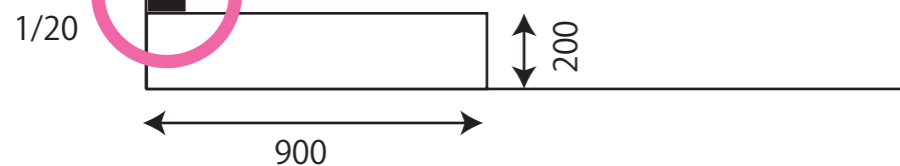
棧の設置にはネジを使用し、厳密に水平をとること。

ヤニなどで作品を汚損する恐れのない木材を使用すること。塗料を使用する場合は、納品までにじゅうぶんに乾燥させること。

支持台は白色の塗装、または紙経師仕上げとする。上に作業員が乗って作業可能な強度を持たせること。

仮枠、支持台とも、2または3分割として納品してもかまわない。

材料および接着剤には、ホルムアルデヒド他の有害物質を発生しにくいもの（☆☆☆☆以上）を使用すること。



1/2